

公明党のリードで進む “新型コロナウイルス感染症対策”

味の素スタジアム(調布市)に 「酸素・医療提供ステーション」が設置

東京都は9月18日、調布市の味の素スタジアム内に新型コロナウイルス患者向けの「酸素・医療提供ステーション」を設置し、運用を開始しました。当面は31床を用意。利用状況に応じて、最大74床まで拡大する予定です。

同ステーションでは、**感染して自宅療養をしている人に酸素投与や重症化を防ぐとされる「抗体カクテル療法」を実施し、陽性者の早期回復につなげます。**この「酸素・医療提供ステーション」設置は、都議会公明党が、緊急要望を通じて粘り強く訴えてきました。



国・都・市の連携で実現したステーションを視察する中島よしお都議

抗体カクテル療法

2種類の抗体(ウイルスなどの異物を排除するたんぱく質)を組み合わせた中和抗体薬を点滴で投与して、ウイルスの細胞への侵入を阻止する治療法。海外の臨床試験では、入院や死亡のリスクを約7割減らす効果が確認されています。公明党の推進で、外来でも使用が可能になりました。

※9月15日時点で国内約2000の医療施設に治療薬が配布。2万7000人に投与の見込み

幅広い世代へワクチン接種を推進 3回目の接種も無料化へ!

新型コロナの感染拡大を防ぐため、公明党の推進により東京都は**16歳～39歳の都民らを対象に、渋谷区の勤労福祉会館に若者向けワクチン接種会場を設置したほか、都庁展望室など5会場**で若者向け接種を行っています。

このほか、妊婦の不安を軽減させるため、妊婦やその家族を対象とした優先枠も設置。さらに、**政府が実施に向け準備をしている3回目の「ブースター接種」**について、公明党

は**2回目までと同様に無償で受けられるよう訴えています。**

一方、調布市・狛江市でもワクチン接種が大きく前進。調布市では9月末から市独自の若者向けの接種がスタート。狛江市では、さらなる接種率向上へまだ1回も接種していない人に限り、予約不要で接種が受けられるようになりました。



公明党が実現させた 主なコロナ対策

医療

- コロナワクチンの確保と無料接種、妊婦への優先接種、若者の接種機会拡大
- 重症化を察知するパルスオキシメーター配備
- 唾液によるPCR検査の実施
- 自宅療養者の早期治療に向けた臨時医療施設(酸素ステーションなど)増設
- 治療薬「レムデシビル」の早期承認推進と臨時医療施設での投与
- 「抗体カクテル療法」の外来や臨時医療施設での投与
- ワクチンを途上国にも供給する国際的枠組み「COVAX(コバックス)」への日本参加
- 医療・介護・障がい福祉サービス従事者に慰労金

事業所など

- 雇用調整助成金の特例措置
- 売り上げ減の事業者への「持続化給付金」(最大200万円)や「月次支援金」(月最大20万円)
- 事業者の賃料負担を軽減する「家賃支援給付金」
- 農林漁業者の経営継続へ最大150万円補助
- 実質無利子・無担保融資による資金繰り支援
- 芸術家個人などの活動継続へ最大150万円補助、大規模団体などには最大2500万円補助

生活

- 1人一律10万円の特別定額給付金
- 低所得ひとり親世帯などへの特別給付金
- 住居確保給付金の対象・期間拡大と再支給
- 休業手当を受け取れていない労働者への「休業支援金」創設
- 緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付と返済免除要件の設定
- 特例貸付を限度額まで借り切るなどした困窮世帯向けに「自立支援金」(最大30万円)
- 転職へ給付を受給しながら職業訓練を受けられる求職者支援制度の要件緩和
- コロナ禍で減収した人の国民年金保険料免除
- 児童・生徒への1人1台の端末配備などでオンライン学習を支援
- 生理用品無償提供など女性の貧困対策
- 困窮学生に学生支援緊急給付金(最大20万円)

※上記の政策は公明党が実現した一部の実績です。

ホットな話題

政府を動かした 公明党

感染力の強いデルタ株がまだ、まん延しています。その中で7月末、政府は、コロナ感染者のうち、重症者と重症化リスクのある患者の方しか入院できず、そのほかの患者は基本的に自宅療養とする方針を発表しました。公明党はすぐに国会質問の場で「酸素吸入が必要な中等症患者が入院できないのはありえない。撤回を」と訴えるとともに、書類の修正を厚生労働大臣に要請。その結果、大臣は酸素吸入が必要な患者は入院できると明言。公明党の強い訴えが、政府を動かしました。

出水期備え進む防災対策

調布市

入間川の治水対策

公明党のリードで、入間川上流端地域に中仙川雨水貯留施設が建設され、6月から稼働しています。この施設の完成で、豪雨の際、入間川への流水抑制に役立ち、野川や多摩川の氾濫抑制にもつながります。



多摩川为天端舗装

狛江市



多摩川土手の天端末舗装部分について、9月下旬から整備工事が始まります。これが完了すれば、水害対策に有効です。土手舗装については、今年2月に多摩川を視察した赤羽一嘉国交相(公明党)が松原市長に工事を約束していました。

公明党都本部青年局のキャンペーン「#ツギコメ」が好評



若者が情熱をツギコメば、政治は変わる——。公明党は若者が主体となって、政治を前進させるため、①新型コロナ②仕事③出産・子育て④SNSの誹謗中傷⑤多様性・共生社会⑥SDGsの6テーマを柱とした若者向け政策「ツギコメ」を立ち上げ、Twitterで活動を発信しています。詳しくはこちらから。



@tsugikome
https://twitter.com/tsugikome